信頼される証、
年間実績アンカー300件、鉄筋200件。

建物·施設の調査·検査は、ぜひ当社にお任せください。

アンカー引張試験

年間300件

引張試験(引抜試験)について

アンカー施工後に行われる施工確認試験のことです。
引張試験機によって引張試験を行います。大きく2種類に分かれます。

1 非破壊試験

非破壊検査は、設計荷重あるいは設定荷重以下での加力を行います。アンカーやコンクリートには損傷を与えません。試験後、アンカーはそのまま実用で使います。JCAA(日本建築あと施工アンカー協会)のあと施工アンカー現場試験方法では、全施工本数の0.5%、または各径ごとの施工本数を1ロットとし、この中の3本に行います。

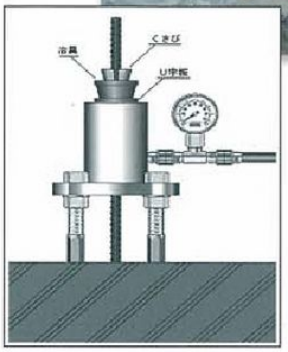
2 破壊試験

破壊試験は、アンカー筋あるいはコンクリートが破壊されるまで行います。実用で使うアンカーを試験する時には、試験終了後の対策を考えておく必要があります。

国土交通省の「あと施工アンカー·連続繊維補強設計·施工指針」によると、引張試験(引抜試験)は、JCAAの第1種あと施工アンカー施工士、またはあと施工アンカー工事共同組合のあと施工アンカー施工技術士以上の資格を持つアンカー施工業者が行う管理区分に指定されています。ですから、無資格の者が行うことは推奨されていません。
弊社では、有資格者をこれまで400名以上育成。引張試験を年間300件以上実施しています。



試験風景



試験装置

